

旧豊田貯水池利活用方針（案）中間とりまとめに係る市民意見の集計について

1 市民意見募集の目的

旧豊田貯水池の歴史的価値や本市まちづくりの基本となる「郡山市都市計画マスタープラン」、「SDGs 未来都市等提言書」など本市の各種計画や市議会からの提言、さらには市民の皆様様の様々な意見を踏まえながら作成した中間とりまとめについて、市民の皆様から意見を募集し、それを旧豊田貯水池利活用懇談会等での検討の参考とすることを目的とする。

2 意見の募集及び収集方法

意見の募集にあたっては、応募方法、募集期間、中間とりまとめの閲覧方法、設問等を本市Webサイト及び広報おおりやま等において、全市民を対象に周知を行った。

意見の回収は、所定の様式により、各行政センター、市政情報センター、各市民サービスセンター、中央公民館、公有資産マネジメント課に備え付けの回収箱への投函及び本市ウェブページの入力フォームで行った。

意見の収集は、旧豊田貯水池利活用懇談会等での検討の参考とすることを目的としていることから、意見公募手続等を行い、意見に対し行政機関の考え方を提示するいわゆる「パブリックコメント」の手法や世代・年齢等に応じたサンプルを抽出し調査する「標本調査」の手法は用いず、当該事業に関心を持つ市民から意見を得ることとしたため、結果として一人複数回答も可能となっている。

なお、意見結果については、上記の理由から旧豊田貯水池利活用懇談会等における検討の参考として

3 意見募集期間

令和2年4月13日～令和2年6月30日（79日間）

4 意見件数について

(1) 意見総数 278件

内 訳 ※一人複数回答可

【回答方法別】

区分	件数	割合
Web回答	155件	55.8%
各行政センター等（紙）	123件	44.2%
合計	278件	

※小数点以下第2位四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

【居住地別】

区分	件数	割合
郡山市内	262件	94.2%
郡山市外	11件	4.0%
無回答	5件	1.8%
合計	278件	

※小数点以下第2位四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

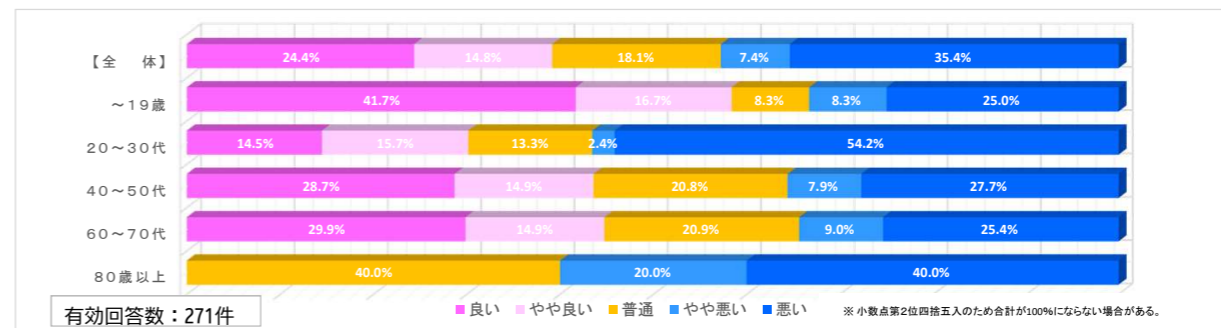
【年齢別】

区分	件数	割合
～19歳	12件	4.3%
20歳代～30歳代	83件	29.9%
40歳代～50歳代	101件	36.3%
60歳代～70歳代	71件	25.5%
80歳以上	7件	2.5%
年齢不明	4件	1.4%
合計	278件	

※小数点以下第2位四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5 意見回答状況

(1) 着眼点について

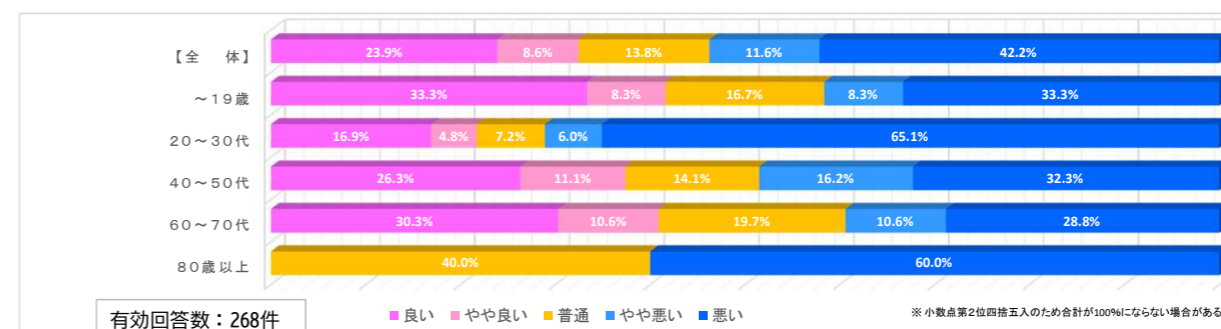


【全 体】 有効回答数271件のうち、「良い」66件 (24.4%)、「やや良い」40件 (14.8%)、「普通」49件 (18.1%)、「やや悪い」20件 (7.4%)、「悪い」96件 (35.4%)となっている。

【世代別】 「～19歳」、「40～50代」、「60～70代」の3世代で「良い」が最も多く、「20～30代」、「80歳以上」の世代で「悪い」が最も多い結果となっている。また、「20代～30代」では、「悪い」が突出している。

【良い理由】 「郡山市の抱える課題や目指す方向性が示されている」「今後のまちづくりに必要な視点である」など

(2) コンセプト（案）について

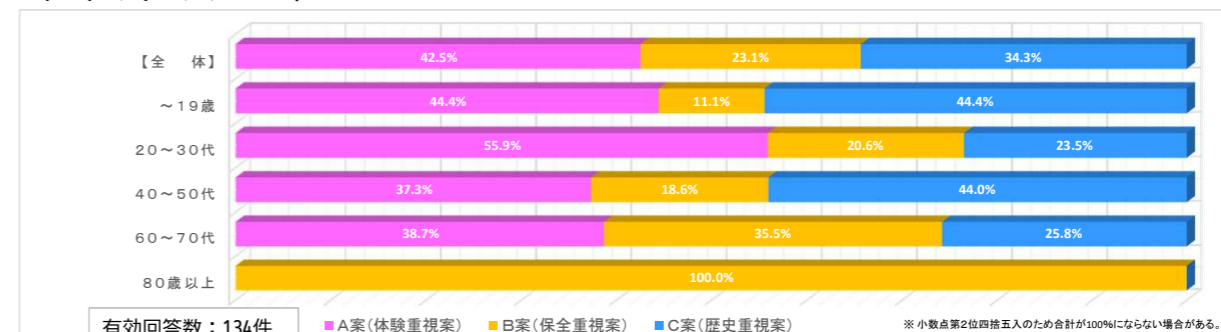


【全 体】 有効回答数268件のうち、「良い」64件 (23.9%)、「やや良い」23件 (8.6%)、「普通」37件 (13.8%)、「やや悪い」31件 (11.6%)、「悪い」113件 (42.2%)となっている。

【世代別】 「～19歳」では「良い」・「悪い」が同数でもっとも多くなっており、「60～70代」で「良い」が最も多く、「20～30代」「40～50代」「80歳以上」で「悪い」が最も多い結果となっている。また、「20代～30代」では、「悪い」が突出している。

【良い理由】 「人口減少が進む中で将来負担を増加させるハコモノはいらない。」「災害時を想定した広い空間は必要」、「安積開拓の歴史など歴史的観点を踏まえつつ永続的なまちづくりの観点から、未来を担う子供たちにとって重要な体験の場、遊び場などのオープンスペースとしての機能が重要視されている。」など

(3) 気に入った案について



【全 体】 有効回答数134件のうち、A案（体験重視案）57件 (42.5%)、B案（保全重視案）31件 (23.1%)、C案（歴史重視案）46件 (34.3%)となっている。

【世代別】 「～19歳」では「A案（体験重視案）」・「C案（歴史重視案）」が同数でもっとも多くなっており、「20～30代」では、A案（体験重視案）が最も多く、「40～50代」では、C案（歴史重視案）が最も多く、「60～70代」では、A案（体験重視案）が最も多く、「80歳以上」ではB案（保全重視案）が最も多い結果となっている。

